



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、OKB大垣共立銀行の第213期中間期における営業の概要をご報告申し上げます。

当上半期の日本経済は、総じて緩やかに回復しました。個人消費は、物価変動を反映した実質賃金の伸びが芳しくなかったことなどから横ばいで推移していましたが、2024年春闘により6月の実質賃金が27ヵ月ぶりにプラスに転じるなど、今後は持ち直しが期待されます。設備投資は、好調な企業収益を背景に旺盛な投資意欲が続いており、過去最高水準にあります。東海地方の経済では、主要の自動車産業において、認証不正問題などにより生産の抑制が続いていますが、その影響は徐々に解消されています。

このような経営環境のもと、OKBグループは長期ビジョン「地域と社員を幸せにするOKBグループ～お客さまからの『ありがとう』の追求～」を設定し、その達成に向けたステップとして、今年度から中期経営計画「Always～変わらぬ想いで、明日を変える～」をスタートさせました。「成長戦略」「人財戦略」「経営基盤強化」の3つの基本戦略を柱に、収益性や生産性の向上、人財への投資などを強力に進めるとともに、地域のイノベーションをサポートする「DX戦略」にも取り組むことで、豊かな地域社会の発展に貢献してまいります。

創立以来、脈々と受け継がれてきた“地域とともに”の想いは変えることなく、地域の明日が今日より豊かになるよう、OKBグループ一体となって未来を変える挑戦を続けてまいります。

皆さまにおかれましては、引き続きより一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2024年11月

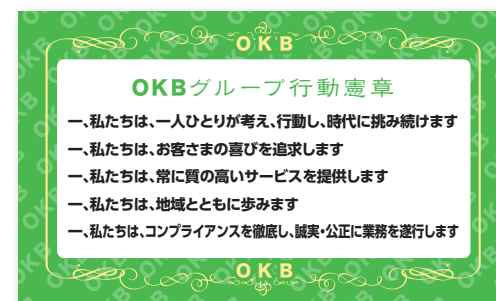
取締役頭取 林 敬治

経営の基本理念

「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」

1896年3月（明治29年）、第百二十九国立銀行の業務を継承して創立した際、それまでの「士族による士族のための銀行」から、「士・農・工・商が共に協力して設立しよう」と「大垣共立銀行」が誕生しました。

その想いを引き継ぎ、“地域とともに”“お客さま目線”を第一に、真にお客さまにとって必要な存在となるよう、「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」として、これからも地域の皆さまと共に歩んでまいります。



CONTENTS

- 1 TOP MESSAGE
- 2 経営の基本理念
- 3 中期経営計画の概要
- 5 営業の概況
- 6 サステナビリティ基本方針
- 7 特集 それ、OKBにお任せください！
- 9 OKBの新たな店舗、SDGs推進に向けた取り組み

- 11 地方創生に向けた取り組み
- 13 DX推進に向けた取り組み
- 15 決算情報
- 19 株主情報
- 21 会社概要
- 22 会社概要、お問い合わせ

本誌に掲載している商品・サービスなどは、一部を除き2024年9月30日現在のものであります。詳細については、パンフレットやホームページをご参照いただくか、店舗窓口へお問い合わせください。

<ホームページアドレス><https://www.okb.co.jp>